

<命の授業>

今年の人権集会は、腰塚勇人氏を招いて「命の授業」を行いました。腰塚氏は、年間200回の講演を通して、「命」の尊さを伝え、命が輝く「ドリー夢メーカー」を一人でも増やしていきたいという使命感で行動されています。講演のキーワードを書き出すので、お子さんに聞いてみてください。



講演のキーワードを書き出すので、お子さんに聞いてみてください。

【ドリー夢メーカー】

○パワーチャージャー

→ 元気・勇気をくれる人

○ほっとマン

→ 助けてが言える人

○リスクテイク

→ 一緒に頑張ってくれる人

○ドリーマン

→ 夢を応援してくれる人

【ドリー夢キラー】

→ 命・体・心を傷つける人

【言葉 or 言刃】

言葉を大切に使うことが、ドリー夢メーカーになる王道だそうです。極論するとどのような言葉を使うかが、その人の人柄だということです。言葉は、使い方によっては、刃物のように人を傷つけることができることを考えると「言刃」と書くこともできると教えてもらいました。



<冬休みの宿題に「手伝い」を！>

昨年に引き続き、保護者の皆様に私からお願いがあります。それは、冬休みに「家庭で子供に手伝い（仕事）をさせてください。」ということです。このお願いは、2学期終業式でも子供たちに話しました。

家庭は、『最小単位の社会であり共同体』です。これから社会に出て世の中をたくましく生き抜いていくためにも、まず、その最も基礎となる家庭の中で『自立』し、家族みんなから『役に立つ存在』として認められ、頼りにされ、そして感謝される経験を味わわせてほしいのです。加えて、その手伝いを続けることで、「自分はこれをやるんだ」と責任を持って取り組むことを体感します。また、保護者から任されていることで、自信となり、責任感を持てるようになるのです。できた時には「ありがとう」と感謝の言葉を伝えてください。自己肯定感を高める絶好の機会だと考えます。

マザーテレサが「人間にとって一番不幸なことは、お金がないことでも病気になって死ぬことでもない。誰からも相手にされないことだ。」と言っています。家族のなかで、『存在感』『有用感』を味わわせるために、冬休み用の手伝いをさせてください。

年末年始は、ご家族でゆっくりのんびりお過ごしください。良いお年を！